

クラス番号	614	担当教員名	山崎 康一郎
テーマ	自分と相手を深く知って、「よりそう」支援を実践できるようになる		
著書・論文	『放課後等デイサービスハンドブック 子どもたちのゆたかな育ちのために』 障害のある子どもの放課後保障全国連絡会編 p105-116		
研究課題等	「障害児入所施設における生活支援と心理的援助に関する支援者の意識—知的障がい児への心理的援助について—」『福祉心理学研究』12(1) p42-53		

## ゼミナール概要

キーワード：心理的ケア、心理治療的な生活支援、社会的養護における心理療法、子ども虐待、障害児の療育

### 【目的】

☆生命科学や情報技術が著しく進展し、生命や障害に対する考え方が多様化するなど価値観や生活が大きく変化する中で、人と社会をより深く理解し、新しい価値を創造できるような多様な視点を持ってほしいと思います。  
 ☆支援現場の高度なニーズに応え、「よりそう」という思いを実現できる実践力を高めてほしいと思います。  
 ☆カウンセリング、セラピーの視点やスキルを用いて、人と社会を理解し支援する力を高めていきましょう。

### 【教員の関心事項】

福祉領域における心理的ケアに関心をもっています。特に、以下の事柄に取り組んでいます。

- ①児童養護施設、福祉型障害児入所施設、ファミリーホームなど、子ども達が生活している場における被虐待経験のある子どもへの心理治療的な生活支援（治療的養育）やトラウマへの対応、愛着形成の支援
- ②障害のある子どもや家族の抱える心理的困難の理解と支援
- ③犯罪心理鑑定と、非行・犯罪行為のあった知的障害者への福祉サービスと心理教育による地域生活支援

### 【内容】

『自分自身や他者の思いを知り、よりそうための視点と方法を身に着ける。』

★虐待によるトラウマへの対応、愛着形成への支援、障害のある方や家族への支援ができるように、心理学的アセスメントやカウンセリング、セラピーを基にしたスキルを身に着けていきましょう。

例えば、トラウマのケアとしてTFT（Thought Field Therapy）、障害児・者や子育てへの支援としてSST（Social Skills Training）やABA、ストレスへの対処としてマインドフルネスが実践できるようにしましょう。

### ★卒業論文

卒業論文を通じて、課題を解決するプロセスを学んでいきたいと思っています。テーマはかなり幅広く、興味関心のあることからみつけていきます。現場での支援実践や子ども、障害のある方はじめ様々な支援を必要とする方との出会いといった経験を通して、テーマを深めていきます。目的に適した方法を用いて解決策をみつけていきます。根拠を示しながら、テーマに関する新しい発見や問題意識に対する解決策を提示します。

### 【授業計画】

★全体を通じて、学生同士の学び合いを大切にしたいと思っています。また、支援の現場から、子ども、障害のある方、その家族との出会いから、多くを学んでほしいと思っています。

学び合える環境づくりと当事者から学ぶことを目的に、学生間の交流や現場での体験を行いたいと思っています。

希望があればTFTパートナー、SSTファーストレベルが修得できるようにサポートします。

### ★卒業論文

3年生：漠然としたテーマや大きな問題意識を、何を知りたいのか、問題意識をはっきりさせていき、テーマをしぼっていきます。文献を調べたり、支援現場に足をはこんだり、議論したりしながら進めていきます。

3年次後半から4年次前期：調査、データの収集を行います。→4年次：データを分析して論文にまとめます。

## 担当教員からのメッセージ

私は大学3年生の時に保育士（当時は保母）を取得し、児童福祉施設で保育士、児童指導員として勤務しました。その中で、被虐待経験や非行など困難な問題に直面し、支援力を高める必要に迫られ、仕事をしながら進学して社会福祉士、臨床心理士を取得しました。支援を必要とする方のために学び続けること、様々なスキルを修得することが求められます。人に関心があり、様々な体験にひっかかりをもって、みずから、みて、聴いて、考えて、学んでいける姿勢があるといいですね。また、自分自身をふり返ったり、人とのかかわりを楽しんだり、自分自身の開示ができると学びが深まるでしょう。